

社会と歯科医療・チーム医療（大学間連携 IT 教育）

コーディネーター：口腔顎顔面再建学講座（歯科麻酔学分野） 城 茂治教授

第3学年 前期

前期 講義 10.5 時間 演習 1.5 時間

一般目標（講義）

我が国では超高齢社会の到来により、様々な基礎疾患を有し、薬を服用している患者が、歯科を受診する率が高まっている。また一般医科病棟でも、当該の病気に加えて、口腔機能管理の重要性が増している。さらに、介護が必要な高齢者の増加と共に呼吸器感染症の予防や摂食嚥下機能の維持・回復のための口腔ケア等の重要性が高まっている。

そこで国民の健康に貢献できるオーラルフィジシャン（口腔科医）になるために、医療の仕組みと高齢者に多くみられる全身疾患、口腔症状および多職種連携のチーム医療を理解し、口腔症状への対応の基本を E-Learning（三大学連携 IT 教育システム）を通して身につける。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月10日(水) 4限	城茂治教授 (歯科麻酔学分野)	オリエンテーション 三大学連携 IT 教育の目的、使用設備について理解する。	1. 三大学連携 IT 教育で学ぶ目標を説明する。 2. PC を用いて必要な情報を得る。 3. 電子ポートフォリオを作成する。
5月20日(月) 1限	城茂治教授 (歯科麻酔学分野)	トライアル 三大学連携 IT 教育システムについて習熟する。	1. IT システムに接続できる。 2. IT システムを利用できる。 3. 電子ポートフォリオを作成できる。 4. IT システムのトラブルに対処できる。 5. IT システムの使用規約を遵守できる。
6月7日(金) 1限	未定 (予防歯科学分野)	高齢化社会と歯科医療 1 日本の将来人口推計等から今後の日本の医療・歯科医療体系を考える。	1. 高齢化社会について説明できる。 2. 高齢化社会と歯科医療について概説できる。 3. 高齢者に多く見られる基礎疾患について列挙できる。
6月12日(水) 1限	城茂治教授 (歯科麻酔学分野) 近藤尚知教授 (補綴・インプラント学講座)	高齢化社会と歯科医療 2 高齢者の身体的、心理学的特徴と歯科患者で高頻度に見られる基礎疾患を理解する。	1. 高血圧について概説できる。 2. 心不全について概説できる。 3. 虚血性心疾患について概説できる。 4. 循環器疾患を有する患者の歯科治療にあたって注意点を概説できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月14日(金) 1限	藤村朗教授 (機能形態学 分野) 須和部京介 (歯周療法学 分野)	高齢化社会とチーム医療 1 脳梗塞を合併した歯科患者 を通して医療・歯科医療の 仕組みと連携を学ぶ。	1. 脳梗塞発症から症状の回復までの一連 の医療体制を概説できる。 2. 医療・歯科医療の連携と病院におけるチ ーム医療の基本を説明できる。
6月19日(水) 1限	藤村朗教授 (機能形態学 分野) 須和部京介 (歯周療法学分 野)	高齢化社会とチーム医療 2 脳梗塞を合併した歯科患者 を通して歯科が担う役割を 学ぶ。	1. 脳梗塞の症状と口腔の機能に対する影 響を説明できる。 2. 障害を持つ患者の口腔ケアの目的と方 法を説明できる。
6月21日(金) 1限	小林琢也講師 (補綴・インプ ラント学講座) 熊谷章子助教 (口腔外科学分 野)	高齢者の口腔疾患 高齢者に多く見られる口腔 疾患（特に口腔乾燥症）に ついて学ぶ。	1. 唾液の分泌に影響を与える因子につい て説明できる。 2. 口腔乾燥症の口腔内所見について説明 できる。 3. 口腔乾燥症と基礎疾患との関連につい て説明できる。
6月28日(金) 1限	熊谷章子助教 (口腔外科学分 野) 小林琢也講師 (補綴・インプ ラント学講座)	高齢者の口腔疾患 高齢者に多く見られる口腔 疾患（特に口腔乾燥症）の 口腔審査法と検査について 学ぶ。	1. 口腔内環境・機能検査として、唾液分泌 能測定、口腔乾燥度測定、細菌数測定、 嚥下機能測定、および咬合力測定を実施 できる。 2. 検査の結果を評価できる。 3. 異常の原因や原疾患を概説できる。

成績評価方法

レポート (60%) ポートフォリオ・E-Learning (40%)
--

オフィスアワー

氏 名	方式	曜日	時間帯	備 考
城 茂治	B-i	月～金	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。メールも可。
近藤尚知	B-i	月～金	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。メールも可。
藤村 朗	B-i	月～金	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。メールも可。
小林琢也	B-i	月～金	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。メールも可。
熊谷章子	B-i	月～金	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。メールも可。
須和部京介	B-i	月～金	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。メールも可。